

地域再生プロジェクトの実施結果調書

市町村名	釧路市
------	-----

1 地域再生プロジェクト実施結果（プロジェクト全体）

（ 3年計画のうち 2年目）

実施主体	市町村名：釧路市 民間団体名：(社) 会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター、同協会くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぶれん、 (特) 駆け込みシェルター釧路、タクシー会社3社、(社) 釧路市社会福祉協議会、市内事業者		計	1 市町村 7 団体他
プロジェクト名	釧路「ワーキング&コミュニティ」再生支援事業		格差の分野：地域経済の格差	
地域重点プロジェクトとの関連性	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	◆地域重点プロジェクト名	◆主な取組 ○	
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	<p>◆ 地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釧路市の有効求人倍率は過去3カ年平均でも0.44と、全国的にも低い。これら雇用環境の低迷は障がい者、母子世帯など社会的弱者の就業悪化を招き、全国的にも高い生活保護受給比率を呈している。特に母子世帯では稼働割合が高いものの生活保護基準を下回っているのが顕著である。これら就業の不安定化が、引いては社会的弱者の孤立、健康不良化につながり、社会保障費の増大を招くばかりでなく、児童養育放棄、虐待、不登校など、次世代人材育成にも深い影響を及ぼしている実態がある。これら課題の克服には雇用環境の改善もさることながら、就業過程に至るまでの行政、市民の協力など「地域コミュニティによる支え合い」が課題となっている。 <p>◆ プロジェクトの目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れたまちで、いつまでも暮らしていけるための「就労に係る新たな公共サービス」を地域住民、行政の協働により担うとともに、身近な公共空間などを活用し、当事者相互で「支え合うコミュニティ」の形成を図る。 			
取組の成果	<p>住民等の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者支援施設情報の作製により、授産製品等が周知され、福祉の店「ぴゅあめいどまーけっと」の販路拡大につながった。 ・障がい者職場実習の実施により、新たな受入企業の増、障害者雇用の啓発が進んだ。 ・母子家庭の母の就労支援として、就労経験や社会経験が不足し、すぐに就労に結びつかない要支援の母を対象にした「あけぼのママースクール」や、子育てや未就労等のため就労が難しい母を対象に、ステップ3までの就労セミナー（ウォーミングアップセミナー・パワーアップセミナー・企業研修セミナー）を開催。各事業を実施するにあたり、移送手段等を持たない母子家庭の母に、移送サービスや託児サービスを提供した結果、あけぼのママースクールや就労セミナーへの積極的な参加があり、母たちの表情が如実に変化してきた。また、事業終了後のアンケート結果でも、就労への意欲が伝わってきている。 <p>計画に対する達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者就労貢献企業認定 23社 ・職場実習受入企業 12社（うち新規9社） ・あけぼのママースクールは、要支援の母を対象にしていることから1回目の開催時には指導の困難性が感じられたが、回を重ねるごとに母たちの表情が変化し、積極的に参加するようになって来た。また、社会ルールの希薄さが改善されつつある。企業体験セミナー参加者については、5日間の実習では少ないとのこと、再度参加を積極的に希望する参加者もいた。資格取得を希望する人も多い。 			

	<p>具体的な効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者職場実習～職場実習者 28 件 ・ あけぼのママースクールに戸惑いながら参加していた母たちが、就労セミナーに参加を希望し就労への意欲をみせるなど、積極的な社会参加に繋がるケースがあった。就労セミナー終了後就労に結びついたり、企業研修セミナーに参加し介護職に自分の適正を見出し、資格取得を希望するケースがあった。就労セミナーを実施するにあたり企業や関係法人、団体の理解が得られたこと、連携が図られ次年度に繋がる。 	<p>交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場実習後に一般就労へ移行 7 件 ・ 被保護母子世帯の稼働率の状況 (H20. 4. 1 現在 49% → H21. 4. 1 48%)
<p>プロジェクト推進上の課題・問題点</p>	<p>課題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般就労への移行はもちろんであるが、市内における地域活動支援センターや就労系事業所の障がい者就労工賃は、道平均を下回っており、工賃向上に向けた方策が今後の検討課題である。 ・ 企業研修セミナーについて、1 回の受入期間が 5 日目では短いとの意見が多数あったことから、希望者には長期間の受入について検討する必要がある。 ・ あけぼのママースクールについては、参加者のステップアップの時期の見極めが課題となる。 <p>課題を踏まえた今後の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場実習：障がい者の適正把握、就労に必要な訓練を行う。就労貢献企業の啓発：就労貢献企業における障がい者の業務内容を広報紙に掲載することにより、制度紹介、貢献企業の周知、障がい者雇用の啓発を行う。 ・ 就労セミナーのステップ 3（ウォーミングアップセミナー・パワーアップセミナー・企業研修セミナー）まで脱落者が出ないようケアしながら実施。フォローアップとして、「お母さんの自習室」の継続開設。企業研修セミナーの参加希望者のために企業等の開拓（関係部との連携）。あけぼのママースクールに参加している母たちのステップアップ（就労セミナーへの参加、新入者とのクラス分け） 	

2 地域再生プロジェクト構成事業

(1) 実績額について

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財源内訳						交付金 要望額	
					国庫補助 金等	道補助 金等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源		その他
							補助金等	委託費				
1	障がい者就労支援強化事業 市・公・企	20 ～ 22	全体計画	3,542					3,542			3,517
			H20	1,359				1,359			1,355	
			H21	1,363				1,363			1,362	
			H22	820				820			800	
2	あけぼのママスクール 市・住・企	20 ～ 22	全体計画	2,022			547		1,475			2,012
			H20	408			106		302			408
			H21	895			189		706			895
			H22	719			252		467			709
3	母子就労ウォーミングアップセミナー 公・企	20 ～ 22	全体計画	1,109			750	315	44			1,063
			H20	379			250	104	25			354
			H21	345			250	76	19			326
			H22	385			250	135				383
4	母子就労パワーアップセミナー 市・住・企	20 ～ 22	全体計画	2,772			363		2,409			2,772
			H20	388			95		293			388
			H21	1,336			133		1,203			1,336
			H22	1,048			135		913			1,048
5	母子就労企業研修セミナー 市・住・企	20 ～ 22	全体計画	2,072			1,009		1,063			2,036
			H20	395			142		253			395
			H21	817			372		445			781
			H22	860			495		365			860
6	小学校跡を活用した地域コミュニティ醸成事業 市・公・住	20 ～ 22	全体計画	53,555	26,614					26,941		0
			H20	53,555	26,941					26,941		0
			H21	0								
			H22	0								
計	事業数 [5]		全体計画	65,072	26,614		750	2,234	8,533	26,941		11,400
			H20	56,484	26,614		250	447	2,232	26,941		2,900
			H21	4,756			250	770	3,736			4,700
			H22	3,832			250	1,017	2,565			3,800

- 注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。
 2 「事業費」、「財源内訳」及び「交付金要望額」欄は実績額又は予定額を記載すること。
 3 その他記載に当たっては、別記第2号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
1	障がい者就労支援強化事業	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者就労貢献企業認定制度 福祉的就労と企業ニーズのマッチング事業 障がい者雇用促進セミナー 福祉的就労事業研究会 	初年度(20)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者就労貢献企業認定制度の制定 シンボルマークの公募 障害者支援施設情報の作成 障がい者雇用促進セミナーの開催 工賃倍増モデル事業の報告 	<ul style="list-style-type: none"> 貢献企業認定件数 20件 シンボルマークの応募件数 251人 277件 セミナー参加者 約100名 福祉施設から一般就労への移行数 21名 	<ul style="list-style-type: none"> 職場実習 就労貢献企業の啓発
			2年度目(21)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者職場実習 広報くしろ記事掲載 障がい者支援施設情報の改訂作製 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者職場実習件数 238人/日 広報くしろ掲載 4回 	<ul style="list-style-type: none"> 一般雇用への移行 就労貢献企業の啓発、周知 授産製品の周知、販売拡大
			3年度目(22)			
2	あけぼのママースクール	<ul style="list-style-type: none"> 養育支援が必要な母親へ保育士による①基本的な生活習慣の指導、②育児指導、③食事指導、④社会参加のためのコミュニケーションの訓練を行う。 	初年度(20)	<ul style="list-style-type: none"> 【開催回数】 12回 【参加延人数】 51名 【主なメニュー】 手縫いの巾着作り、お茶会、おにぎりの作り方実習、絵本の読み聞かせ、わらべうた 	<ul style="list-style-type: none"> 【効果】 回を重ねるごとに参加者の表情も変わり、子への係わり、他参加者とのコミュニケーションの取り方にも成長が見られた。 【課題】 どの段階で次のステップに進ませるかの判断。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者のステップアップ(就労セミナーへの参加)
			2年度目(21)	<ul style="list-style-type: none"> 【開催回数】 25回 【参加延人数】 123名 【主なメニュー】 手縫いのキーケース作り、エコ・アクリルタワシ作り、スイッチポンでできる簡単料理の作り方実習、お茶会、加工実習体験(ソーセージ、パン、バター作り) 	<ul style="list-style-type: none"> 【効果】 回を重ねるごとに参加者の表情も変わり、子への係わり、他参加者とのコミュニケーションの取り方にも成長が見られた。 【課題】 卒業時期の見極め 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者のレベルに合わせた教室の開催(ママースクール新入クラスと卒業クラスに分けて教室を開催するなど)
			3年度目(22)			

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
3	母子就労ウォーミングアップセミナー	<ul style="list-style-type: none"> 就労への第一歩として外へ出るきっかけ作りに、覚えておくに役立つ基本的な事柄をテーマに5日間の講座を開催。 NPO法人駆け込みシェルター釧路が市の補助金を受け実施。 	初年度(20)	【開催日】 9/17~9/21 【参加延人数】 92名 【カリキュラム】 カラーコーディネイト、(自分に似合う色)、ストレッチ体操、メイクアップ教室、(セルフメイクレッスン)、パソコン教室(2日間)	【効果】 比較的参加しやすいメニューのため予定を上回る参加希望があり、外へ出るきっかけ作りとなった。 【課題】 パソコン教室については、個々の習得状況の違いが大きかったことから実習方法についての検討が必要	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きNPO法人駆け込みシェルター釧路が就労に向けたコーディネート事業を実施。
			2年度目(21)	【開催日】 9/9~9/16 【参加延人数】 59名 【カリキュラム】 カラーコーディネイト、(自分に似合う色)、ストレッチ体操、メイクアップ教室、(セルフメイクレッスン)、パソコン教室(3日間)	【効果】 比較的参加しやすいメニューのため、外へ出るきっかけ作りとなった。 【課題】 参加者を増やすためにカリキュラムの工夫が必要。	
			3年度目(22)			
4	母子就労パワーアップセミナー	<ul style="list-style-type: none"> 就職試験や就職活動に役立つ実践的な事柄をテーマに5日間の講座を開催。 	初年度(20)	【開催日】 9/29~10/3 【参加延人数】 72名 【カリキュラム】 自己分析、(エゴグラム診断)、ビジネスマナーⅠ、(敬語の使い方、聞き方、話し方)、ビジネスマナーⅡ、(電話対応)、履歴書(職務経歴書の作り方)、面接対策(第一印象の大切さ)	【効果】 5日間継続してのセミナー参加により、達成感が大きく、面接への自信、就労への意欲も感じ取れた。 【課題】 実践が少なく受身型の講習内容。	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ型の講習を増やすことで、更に面接や就職活動への自信をつける。

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
4	母子就労パワーアップセミナー	・就職試験や就職活動に役立つ実践的な事柄をテーマに5日間の講座を開催。	2年度目 (21)	<p>○パワーアップセミナー 【開催日】9/28～10/2 【参加延人数】50名 【カリキュラム】 自己分析、(エゴグラム診断)、ビジネスマナーⅠ、(敬語の使い方、聞き方、話し方)、ビジネスマナーⅡ、(電話対応、一般的なマナー)、履歴書(職務経歴書の作り方)、面接対策(第一印象の大切さ、みだしなみ、おじぎの基本動作)</p> <p>○お母さんの自習室 【開設回数】30回 (9/2～3/3) 【利用者数】90名 【登録者数】13名 ※高等看護学院等合格者2名</p>	<p>○パワーアップセミナー 【効果】 5日間継続してのセミナー参加により、達成感が大きく、面接への自信、就労への意欲も感じ取れた。 【課題】 参加者の次へのステップアップ</p> <p>○お母さんの自習室 【効果】 同じ目的を持った母が集まったことから、情報交換の場となり、お互いに励ましあいながら勉強ができた。 【課題】 就労している母が利用できない。</p>	<p>○パワーアップセミナー 企業体験セミナーへの参加や資格取得への働きかけを行う。</p> <p>○お母さんの自習室 就労している母も利用できるような開設時間等の設定について検討。</p>
			3年度目 (22)			
5	母子就労企業研修セミナー	・職業意識の向上や未経験の仕事の適正を見極める目的で一般企業等での体験セミナーを開催。	初年度 (20)	<p>【開催日】1/26～1/30 【参加延人数】26名 【実習先】 ほしがうらでいびセンター てつほくでいびセンター ぼうようでいびセンター</p>	<p>【効果】 未経験の仕事の適正を見極めることができ、資格取得や就労先を探すうえでの自信となる。 【課題】 開催時期や回数を見直し、職種の開拓。</p>	<p>・段階を追ってのセミナー参加者のみではなく、資格取得、就職先を迷っている者にも参加を働きかけ、希望者の随時受入れを目指す。 ・実習受入れ企業の開拓</p>
			2年度目 (21)	<p>【開催日】①7/13～7/17 ②11/16～11/20 ③1/25～1/29 【参加延人数】50名 【実習先】 ほしがうらでいびセンター てつほくでいびセンター ぼうようでいびセンター</p>	<p>【効果】 未経験の仕事の適正を見極めることができ、資格取得や就労先を探すうえでの自信となる。 【課題】 1回あたりの受入れ期間を5日間と設定しているが、慣れた頃に実習が終了となる。</p>	<p>・1回の受入れ期間を5日間と設定しているが、希望者には長期間の受入れも検討する。 ・パンフレットの配布等により更に実習受入れ企業の開拓を行う。</p>
			3年度目 (22)			

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
6	小学校跡を活用した地域コミュニティ醸成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流と活性化に取り組む市民団体が公的なサービス提供を行うため学校跡空間を使用し、「コミュニティビジネス」など地域高齢者や障がい者の雇用拡大や子育て世代を支援するコミュニティサービスを行う。 	初年度 (20)	【竣工】 1/26~1/30 【入居団体】 消防団、シルバー人材センター、NPO 法人こぶし作業所、おもちゃライブラリー	【効果】 学校統廃合による旧校舎を地域コミュニティに資する団体利用のための施設として活用を図ることにより、地域の活性化を図ることができる。 【課題】 自主的な運営方法による円滑な管理	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体のテーマコミュニティの醸成と団体連携による新たな事業の展開
			2年度目 (21)			
			3年度目 (22)			

注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、プロジェクトの期間を通じて、実施状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。